

## 6 令第16条の5（汚水の排出の届出）

〔届出書〕規則別記様式第8の3

### 汚水排出届出書

（文書番号）・・・①  
令和〇年〇月〇日

九州地方整備局長 殿

届出人 住所 〇〇市〇〇町〇〇番地・・・②

〇〇株式会社

氏名 ふりがな 代表取締役 〇〇〇〇 ・・・③

河川法施行令第16条の5の規定により、次のとおり届け出ます。

- 1 汚水を排出しようとする河川の種類及び名称  
一級河川〇〇川水系〇〇川
- 2 汚水を排出しようとする場所・・・④  
〇岸 〇〇k〇〇付近  
〇〇県〇〇郡〇〇町大字〇〇〇〇番地先（〇〇川〇岸）
- 3 汚水の排出の方法及び期間・・・⑤  
・〇〇工場よりポンプ排水により直接川に放流する。  
・期間は令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日まで
- 4 排出しようとする汚水の量・・・⑥  
1日当たり 800立法メートル/D  
時間当たり 100立法メートル/h
- 5 排出しようとする汚水の水質・・・⑦

水質項目	平均値	最大値	備考
PH	〇. 〇	〇. 〇	
COD	〇mg/l	〇mg/l	
BOD	〇mg/l	〇mg/l	
SS	〇mg/l	〇mg/l	

6 排出しようとする汚水の処理の方法・・・⑧

活性汚泥法により処理を行い、排水の水質が水質汚濁防止法及び都道府県知事が定めている条例等に適合する水質により処理して放流する。

(A4版)

**【記載要領】**

- ① 届出人が公共団体又は法人等であって文書番号による整理がなされているときは、文書番号を併記してください。
- ② 公共団体又は法人等についても「字〇〇番地」まで記載してください。
- ③イ 公共団体又は法人である場合は、その公共団体又は法人の名称及び代表者氏名を記載してください。  
ロ 河川法施行規則の改正により、押印は不要となりました。  
(令和2年12月23日 官報号外第267号)
- ④ 排出口の所在地及び河川の左右岸(河口に向かって)の別、河川の距離標を記載してください。
- ⑤ ポンプ排出又は自然排出の別、排出口の構造の概要並びに排出の開始及び終了の時期を記載してください。
- ⑥ 日量及び時間量を記載してください。
- ⑦ 化学的酸素要求量(COD)、生物化学的酸素要求量(BOD)、水素イオン濃度(PH)、浮遊物質(S S)、その他項目ごとに平均値及び最大値を記載してください。ただし、その他の項目については、汚水の種類に応じた必要な範囲で記載してください。
- ⑧ 活性汚泥法、標準散水濾床法、沈殿法等の処理の方法及びこれらの方法に応じて設置する沈殿池、エアレーションタンク、中和槽、油脂分離槽等の施設の名称、数量等を記載してください。

〈提出部数〉申請書・添付図書 正本1部 写し1部

**【添付図書】**

- 1 位置図(1/50,000)
- 2 汚水排出経路概要図(汚水処理系統を含む。)
- 3 処理方法の構造図